



社会福祉法人
八幡市社会福祉協議会

50th ANNIVERSARY

法人化 50周年記念誌



社会福祉法人
八幡市社会福祉協議会

50th
ANNIVERSARY

法人化 50周年記念誌

contents

- 1 ご挨拶
- 2 祝辞
- 6 八幡市社会福祉協議会50年のあゆみ
- 10 地域福祉推進計画のあゆみ
- 11 八幡市社会福祉協議会事業紹介



ご挨拶

社協法人化50周年にあたって

八幡市社会福祉協議会 会長

松本 伍男



八幡市社会福祉協議会が1972年3月に法人化してから、今年でちょうど50年を迎えることとなりました。

こうして50周年を迎えることができたのも、ひとえにこれまで社協の運営を支えてくださいました市民の皆様をはじめ、関係団体や関係機関、歴代の役員の皆様のご協力があったからこそと思っております、ここに深く感謝を申し上げます。

さて、本会の前身は、1954年に任意団体として設立しましたが、70年近い歴史の中で社協を取り巻く社会情勢は大きく変化しました。任意団体として設立した当時は戦後の復興期で、福祉活動の基盤が整ってきた頃になります。その後、高度経済成長が進み、都市部への人口集中や核家族化などにより福祉に対する様々なニーズが拡大する中、地域福祉を担う市町村社協の運営基盤の強化が求められ、本会においても1972年に法人化することになりました。以来、本会では生活困窮者への支援やボランティア活動支援など、地域の皆様と協力しながら様々な活動を進めてまいりました。また、在宅福祉ニーズの高まりを受け、2000年から介護保険事業（居宅介護支援、訪問介護）さらには認知症対応型のデイサービスや障がい福祉サービスにも積極的に取り組んでおります。

その時々々の社会経済情勢に応じて福祉ニーズも変化していきますが、特に近年はコロナ禍によって、これまでからあった福祉課題がさらに顕在化・深刻化しております。本会が法人化から50年、前身も含めると70年近い歴史がありますが、これまでの経験を生かしながら、新たな課題にも果敢にチャレンジし、社協としての役割をしっかりと果たしていくことが大切であると考えております。

本会といたしましては、これからも、市民の皆様をはじめ、八幡市、関係団体等と協働しながら、地域福祉の推進に全力を挙げて取り組んでまいりますので、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

祝辞

社協法人化50周年に寄せて

八幡市長

堀口 文昭



社会福祉法人八幡市社会福祉協議会が法人化50周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

八幡市社会福祉協議会におかれましては、昭和47年3月の法人化以来、地域福祉の向上のため、市民の福祉活動やボランティア活動の支援、様々な生活課題を抱えられた方々への相談援助、在宅福祉サービスなどにより、すべての市民で支え合う福祉のまちづくりを進めて来られました。本市の地域福祉推進のため、中心的役割を果たしておられることに対し、深く敬意を表する次第であります。

さて、令和2年1月に新型コロナウイルス感染症が日本で初めて確認され、厳しい冬のごとく私たちの生活環境は一変し、自粛生活を余儀なくされたことで社会経済は未曾有の大打撃を受けました。休業や失業で生活に悩まれた方に対して新型コロナウイルス感染症対策特例貸付を行っていただくなど地域福祉の根幹としてご活躍いただいております。

さらに近年の少子高齢・人口減少時代を迎え、家族構成の変化、地縁血縁の希薄化など地域社会が変化しているなか、市では、誰一人取り残さない社会を築いていくために、誰もが尊重し、支え合い、自分らしく活躍できる社会、誰もが暮らしやすいまちづくりの実現を目指し取組を進めております。

平成30年3月には「第2次八幡市地域福祉推進計画」を八幡市社会福祉協議会と八幡市により協働で策定しました。「認め合い 笑顔で結ぶ わたしたちのまち」を基本理念とし、地域福祉に取り組む人の増加「人づくり」、福祉課題に地域で取り組む基盤の強化「場づくり」を進めるため、ともに推進していただいております。

今後も八幡市社会福祉協議会の皆様には、すべての人が安心して暮らせるまちづくりに向け、一層のご理解と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、八幡市社会福祉協議会の更なるご発展と、皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの挨拶といたします。

祝辞

社協法人化50周年に寄せて

八幡市議会議長
岡田 秀子



八幡市社会福祉協議会が法人化50周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

貴協議会は、昭和47年に社会福祉法人の認可を受けられ、これまで住民主体の理念に基づき、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりにご尽力されてこられました。このたび50周年という大きな節目を迎えられましたのも、歴代の役員並びに関係者の皆さまのご努力のたまものと深く敬意を表し感謝申し上げます。

近年は、急激な少子高齢化や人口減少のなか、都市化や情報化の進展などにより地域のつながりも希薄化するなど、地域福祉を取りまく環境が大きく変化し、地域が抱える課題や問題も多様化、複雑化しております。

このような地域福祉の課題への対応は、公的サービスだけでは困難であり、また、住民の相互扶助活動のみでも解決することはできません。

貴協議会におかれましては、地域福祉の推進を担う中核的な団体として、住民による支え合いや助け合いの活動促進と公的サービスを結びつける取組に引き続きご尽力賜りますようお願い申し上げます。

市議会といたしましても、第2次八幡市地域福祉推進計画の基本理念である「認め合い 笑顔をつむぐ わたしたちのまち」の推進に向け、市及び関係機関とともに、さらなる福祉施策の充実に努めてまいります。

結びにあたり、八幡市社会福祉協議会法人化50周年を契機として、八幡市社会福祉協議会の今後ますますの発展と、職員の皆様方のご健勝を祈念し、記念誌発行に寄せてのお祝いの言葉とさせていただきます。

祝辞

法人化50周年を祝して

京都府社会福祉協議会 会長

小畑 英明



社会福祉法人八幡市社会福祉協議会が法人化50周年という記念すべき年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、昭和29年に地域福祉の向上を目的に事業を開始し、昭和47年には法人化をされました。ボランティアグループの運営支援や「福祉委員会」の小学校区毎設立などきめ細かい対応を進められるとともに、八幡市から老人憩いの家八寿園や地域活動支援センターやまびこの運営を受託され、また今日では、絆ネットワークの構築、高齢者や障害のある方々への相談・サービス提供、生活に困窮する人々への相談など、地域福祉の総合的な展開に尽力されておりますことに深く敬意を表します。

御承知のとおり、少子高齢化や地域のつながりの希薄化、また新型コロナウイルスの感染拡大や最近の物価高騰により生活困窮や孤立・孤独の問題が顕在化しています。「地域共生社会」の実現に向けた取り組みへの期待が寄せられており、社会福祉協議会の役割が一層重要になっております。

こうした中、貴会におかれましては、「認め合い 笑顔をつむぐ わたしたちのまち」を基本理念に、八幡市とともに「第2次八幡市地域福祉推進計画」を策定され、地域住民や関係団体の皆様と力を合せ、地域のつながりづくり、福祉制度や相談体制の充実を図られており、今後とも、誰もが笑顔で、安心して生活できる地域社会の実現に向けて尽力されることを御期待申し上げます。

私ども京都府社会福祉協議会といたしましても、皆様方としっかり連携しながら、未来に向けて「つながりをいかして、だれもが尊厳をもっていきることができる社会づくり」を進めてまいりますので、引き続きご協力賜りますようお願いいたします。

結びに、法人化50周年を迎えられました貴会の今後ますますの御隆盛をお祈り申し上げますとともに関係の皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

祝辞

法人化50周年を祝して

八幡市民生児童委員協議会 会長

本郷 俊明



八幡市社会福祉協議会が法人化50周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

貴協議会におかれましては、各種社会福祉事業等の拠点としてより良い社会づくりに貢献されていることに深く敬意を表します。また、平素から民生委員・児童委員活動にも多大なご尽力を賜り、心からお礼申し上げます。

少子高齢化、人口減少、加えて新型コロナウイルス感染症や世界情勢の影響による物価高騰で、今まで以上に生活困窮者が増加するなどといった社会情勢で、民生委員・児童委員とともに貴協議会の皆様と地域において果たしていかないといけない役割が増えてきているように感じております。

特に、コロナ禍で従来貴協議会が対面で行われていた福祉のつどいや各種講座などが中止や規模縮小をせざるを得ない状況に追い込まれる中、感染予防対策を講じたり、WEBを併用したりするなどで、活動を継続されてきたことは「誰一人取り残さない」社会の実現に資する取組をなんとか継続しなければならないという貴協議会の思いを感じておりました。

私たち民生委員・児童委員は、平成29年に民生委員制度100周年を迎えました。委員活動の歴史の中にはいつも「社協とともに」、社協の歴史には「民生児童委員とともに」とも記されています。当会からは理事、評議員にそれぞれ3名の民生児童委員が貴協議会運営に参画させていただいているほか、生活福祉資金や共同募金、各種ボランティアの委員会委員にも民生児童委員を委嘱していただいております。

また、昨年度は第89回全国民生委員・児童委員大会が京都府で開催されたことや本年12月には民生委員・児童委員の一斉改選を控えており、コロナ禍が沈静化してきたことも契機ととらえ、十分な感染予防対策をしたうえで、各種事業や訪問、電話等の日常の相談援助活動を活発に行っていきたいと考えています。

最後になりましたが、法人化50周年を契機に、八幡市社会福祉協議会の更なるご発展と、皆様の益々のご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

八幡市社会福祉協議会50年のあゆみ

年月日		社協の出来事
1954年(昭和29年)	10月	八幡町社会福祉協議会 事業開始
	〃	・世帯更生資金貸付制度の窓口業務 ・共同募金運動事務 ・心配ごと相談所の運営等
1972年(昭和47年)	3月	社会福祉法人の認可を受ける
1973年(昭和48年)	5月	老人憩いの家 八寿園の運営を 市より受託
1976年(昭和51年)	4月	ボランティアグループ「八幡市手話サークル八望」発足
1982年(昭和57年)	4月	ボランティア バンク (現ボランティア 活動センター) 発足 老人憩いの家 八寿園ゲート ボール場完成
1984年(昭和59年)	4月	老人給食 サービス事業 を開始 (平成22年 3月事業廃止)

年月日		社協の出来事	
1986年（昭和61年）	4月	市立福祉会館の管理を市より受託（事務所移転） やすらぎ号運行開始	 福祉施設複合施設の利点を生かして やすらぎ号運行開始 福祉施設複合施設の利点を生かして やすらぎ号運行開始
1993年（平成5年）	4月	ボランティア事業の指定を受け実施（2年間） ボランティア入門講座	 ボランティアタウンへ 事業スタート 入門講座に39人 ボランティア
1994年（平成6年）	4月	ボランティア基金造成開始（目標1億円）	
1995年（平成7年）	1月	芦屋市など阪神淡路大震災の被災地へ災害ボランティアを派遣	
		阪神淡路大震災以降ボランティア活動が活発化	
	7月	ふれあいのまちづくり事業の指定を受け実施（5年間）	
	4月	福祉委員会を小学校区ごとに順次設立	
		ふれあい福祉相談事業を開始	
1997年（平成9年）	1月	ナホトカ号重油流出事故の被災地へ災害ボランティアを派遣	
	3月	八幡市地域福祉活動計画の策定	
1999年（平成11年）		中・高生による社会福祉施設体験事業	
		 心と心のふれあいの中で 新しい自分を発見 体験学習で 新しい自分を発見	

年月日		社協の出来事
2000年(平成12年)	4月	住民参加の地域福祉推進事業の指定を受け実施(3年間)
		介護保険事業開始(居宅介護支援、訪問介護)
2003年(平成15年)	7月	第二次八幡市地域福祉活動計画の策定
2006年(平成18年)	4月	福祉サービス利用援助事業を開始
		障害者生活支援センターやまびこを市より受託
2007年(平成19年)	12月	八寿園 デイサービス 事業開始 
2008年(平成20年)	6月	第三次八幡市地域福祉活動計画の策定
2011年(平成23年)	3月	東日本大震災の被災地(宮城県)へ職員派遣
2013年(平成25年)	2月	市立福祉会館(旧八幡東小学校跡地)へ事務所移転
2013年(平成25年)	3月	八幡市地域福祉推進計画の策定
2014年(平成26年)	9月	絆ネットワーク構築支援事業を市より受託
2015年(平成27年)	6月	生活困窮者家計相談支援事業を市より受託
2015年(平成27年)	10月	八幡市災害 ボランティア センターの設置 
2016年(平成28年)	4月	熊本地震の被災地(熊本県)へ職員派遣

年月日		社協の出来事
2018年（平成30年）	3月	第2次八幡市地域福祉推進計画の策定
	4月	福祉委員会の設置を小学校区から自治会単位に発展的再編成
	6月 9月	大阪府北部地震、台風21号による困りごと相談及び生活復興支援   大阪北部を震源とする地震被害で お困りの皆様へ 八幡市社会福祉協議会（八幡市災害ボランティアセンター）へご連絡ください。 どんな困り事でも相談をお寄せください （例えば） ● 地震で家具が倒れたり、食器が割れたりして片づけられない ● 落ちた瓦や壁などを片付けたい ● 地震によって出たゴミを片付けたい ● 住宅の補修が必要だが困っている ● その他、お悩み  連 絡 先 電 話 075-983-4450 F A X 075-983-5798 受付時間 8:30~17:15 社会福祉法人 八幡市社会福祉協議会 （八幡市災害ボランティアセンター）
2019年（平成31年・令和元年）	4月	被保護者等就労支援事業を市より受託
2020年（令和2年）	3月	新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付相談窓口設置
2022年（令和4年）	3月	法人化50周年を迎える

地域福祉推進計画のあゆみ

～ 地域福祉活動計画から地域福祉推進計画へ ～

現在、八幡市社会福祉協議会では、様々な地域福祉活動を展開していますが、これらの活動の指針となっているのが「地域福祉活動計画」とそれに続く「地域福祉推進計画」です。ここで、これまでの計画の歴史を振り返ってみます。

【地域福祉活動計画】

最初に「地域福祉活動計画」を策定したのは平成8年度ですが、策定の背景として、当時、本会の活動をもっと市民の目に見えるような形で進めることが求められていたことや、介護保険事業の導入に備えて、社協の活動方針を明確にする必要があったことなどがあります。

こうした背景を踏まえ、本会では、地域福祉活動の指針となる「八幡市地域福祉活動計画」(実施期間：6年間)を平成9年3月に策定しました。

本計画を引き継いで、平成15年7月に第2次活動計画を、さらには平成20年5月には第3次活動計画を策定しました。

【地域福祉推進計画】

一方、当時は、地域福祉に関する計画として、八幡市において地域福祉の理念となる「地域福祉計画」を、本会において、地域福祉の具体的な活動内容を示す「地域福祉活動計画」を別々に策定していましたが、地域福祉における総合的な計画として一本化し、八幡市と本会の協働によって「第1次地域福祉推進計画」を平成25年3月に策定しました。

そして、平成30年3月には「第2次地域福祉推進計画」を策定し、現在、この計画に基づいて、住民参加による地域福祉活動を進めています。この第2次推進計画の特徴は、「^{だん かつ}談活」を重点プロジェクトとしていることです。「談活」は、談話や談笑を通じて人と人がつながり、新たな発見や活動に出会う場をつくっていくことで、地域住民が主体的に様々な福祉活動を進めていくことを目指しています。

さらに、現在の第2次計画の期間が令和4年度で終了するため、令和5年度からの5年間となる第3次計画の策定を八幡市との協働で進めているところです。



八幡市社会福祉協議会 事業紹介

福祉課

ボランティアに関する相談や活動支援、社協会費や募金の取りまとめ、権利擁護事業、暮らしの総合相談、福祉出前講座などを行っています。

ボランティア活動の推進



ボランティアに関する相談や活動の支援、体験講座、啓発を行っています。

災害ボランティアセンターの運営



災害時の困りごと・相談を聞き、一日でも早く普段の生活に戻るようにお手伝いをしています。

ふれあい福祉センター



福祉に関する相談に応じます。どこに相談したら良いか迷ったときは、まずお電話ください。

TEL.983-2000（平日夜間、休日は留守番電話又はFAXで受付します。）

福祉サービス利用援助事業

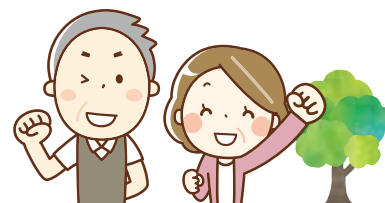


お金の管理など日常生活に不安のある方を対象に、各種の手続きについて専門員や生活支援員がお手伝いします。

福祉出前講座



地域の皆様の集まりの場に出向いて福祉の講座を出前します。



TEL 983-4450

ヘルパーステーション

ケアプランの作成、訪問介護員の派遣、ガイドヘルパーの派遣や介護予防教室を開催しています。

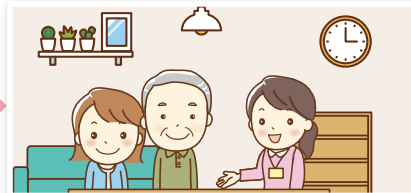


定例会

ケアマネジャー



ケアマネジャーはケアプラン作成のため連絡調整をします。



ご利用者様宅でサービスプランの説明、確認をします。

ヘルパー



ヘルパーは一日の訪問予定など業務の打ち合わせを行います。



ヘルパー業務の様子

TEL 983-1504



八寿園 デイサービス

認知症でさまざまな症状のある方が対象のデイサービスです。とても家庭的な雰囲気、自分らしくいきいきと楽しい1日を過ごしていただけます。

健康チェック



お出汁のきいた手作りのおいしい昼食



さくら公園を散歩



1日の 流れ

9:00～10:00
ご自宅へお迎え

10:00 健康チェック・いきいき体操
11:00 入浴
12:00 昼食

13:00 レクリエーション
15:00 おやつ
16:00 ご自宅へお送り

TEL 983-2810

老人憩いの家 八寿園

高齢者のレクリエーション、趣味の活動、老人クラブの活動などを支援しています。



図書コーナーでゆっくり読書。



囲碁や将棋も楽しめます。

利用者 八幡市内在住で、利用者60歳以上の方及び障がいのある方が利用できます。

利用時間 午前9時から午後4時30分まで

休園日 土曜午後・日祝

場 所 八幡市男山美桜18番地

TEL 981-8131

地域活動支援センター やまびこ

地域活動支援センターやまびこでは、障がいを持った方の日中活動のサポートや日常の困りごと等の相談を行っています。

(体験利用の流れ)



① まずはお連絡・相談



② 施設の案内



③ 活動の体験

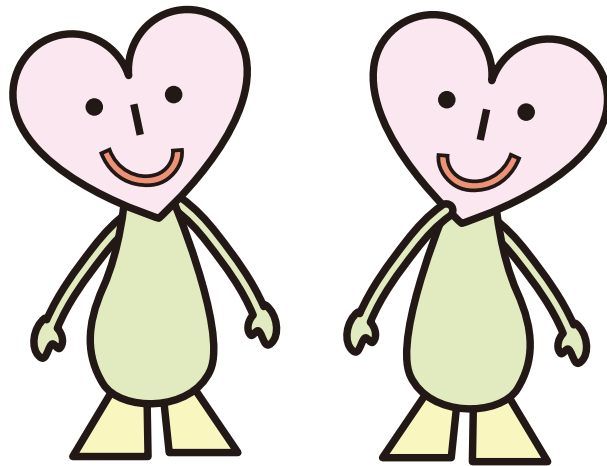


④ 体験の継続

TEL 972-2880

初代キャラクター

(2001年3月1日～2015年5月31日)



まーちゃん・なーちゃん

二代目キャラクター

(2015年6月1日～現在)



まな
愛ちゃん



認め合い 笑顔を結ぶ わたしたちのまち
八幡市社会福祉協議会



社協HP



Instagram



Twitter

発行 令和4年7月

社会福祉法人 八幡市社会福祉協議会

住所 〒614-8022 京都府八幡市八幡東浦5番地

TEL 075-983-4450 FAX 075-983-5798